

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	コンビニ（経営者）	・クーポン券、土日だけのお買い得商品やキャンペーンを増やしているため良くなる。
	変わらない	ゴルフ場（経営者）	・確実に利用客が増えつつある。
		一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	・今後も客単価が10～15%低下している傾向が続くため、例年並みの売上確保は厳しい。今年の夏期は物販での売上増加を見込むには予想が立てにくい状況である。要因としては前年から懸念している観光客のお金の使用目的が、物販から体験・癒しに変わってきていることがあるが、今年はその傾向が前年以上になる可能性もある。対応策として魅力ある新商品の投入で売上アップを目指す。
		百貨店（担当者）	・天候不順の影響はいかんともし難い。比較的堅調に推移した食品においても来客数減少による影響が出始め、天候の回復状況によっては5月においても同様の影響が出る。
		スーパー（経営者）	・今年に入ってから売上、来客数共に伸びているが、競合店の新規出店があり、今後夏場に向けますます競争が激化してくる。
		コンビニ（エリア担当）	・観光客の伸びはみられるものの、地元客の動きに変化は無い。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数の減少傾向は今後も続く。競合店や大型店の現状からみても来客数が増える要素が無い。売上は減少する上、店舗経費は変動が少ないため、収益構造の悪化は今後も続く。
		衣料品専門店（経営者）	・前年と比較しても来客数、買上点数共に少なく、この3か月の中でも低調なのは気になるが、それほど変わらない。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・観光客は増加しているがリピーター、競争相手も増加しており、前年の売上確保は厳しい状況が続く。
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・イベントに対する地元客の反応が悪く伸び悩んでいるが、その分、観光客数が増えている。	
	観光名所（職員）	・沖縄への入域観光客数は、順調に推移している。4月の入域観光客数も前年同月を上回る見込みである。これから沖縄は夏本番を迎え、入域観光客数も順調に推移する。	
	やや悪くなる	観光型ホテル（商品企画担当）	・5、6月は梅雨の時期で沖縄への観光入域客数も減少するが、前年に比較しても特に団体の集客が悪い状況である。
悪くなる	商店街（代表者）	・現在、金太郎あめのように観光土産品店や飲食店が多くなりつつある。毎年、売上は前年を割れていると推測される。観光入域客数は多くなっている状況であるが、こと地元客に関しては毎月売上が減少して危機的な状況にある。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
	変わらない	輸送業（営業・運営担当）	・取引先の店舗展開が4～6月で数店舗増加するなど、商品取扱量の増加が見込める。特に外食系については計画どおりに進んでいる。
		広告代理店（営業担当）	・県内における既存取引先において、わずかながら販促経費への投資額が増加傾向にある。不動産関連企業や健康関連企業の販促活動も動き始めている。さらに、官公庁関連プロジェクトにおいても地域ブランド活性をテーマとしたマーケティング需要が高まる傾向にある。
	悪くなる	食料品生産業（管理部門）	・原料肉類や副資材類の高値が続いている。
		建設業（経営者）	・引き合い件数の伸びが鈍い。また、成約に至るまでの時間が長くなる傾向がみられる。
	悪くなる	コピーサービス業（代表者）	・先月は多少の黒字が出たものの、今月はマイナスの見込みである。いつもと変わらず営業努力しているが、売上は減少する一方である。その一番の理由として挙げられるのが、インターネットを利用した商品販売である。5、6年前は、商品を宣伝するには紙媒体が主流であったが、今日ではネット販売に移行しつつあり、印刷は今の市場に合った商品開発に必死にならないと生き残れない。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	-	-
	人材派遣会社（経営者）	・今年の2月くらいからの依頼増加傾向は今月になっても続き、今後もしばらくは同じ傾向をたどる。	
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・メーカーの新商品売出しが活発化していく事が予想されるため、景気は良くなる傾向が見受けられる。	

	学校 [大学] (就職担当)	・企業合同説明会が頻繁に行われており、県内企業の参加が増加し、求人に対して積極的な対応が目立つ。特に、観光業とサービス業が積極的である。また、県外企業が早々に求人攻勢を掛けているので、県内企業に危機感が出て、求人につながっている面もある。さらに、今年3月に卒業した無就業者の求人まで出して業務拡大による人手不足を補う企業がかなりある。
変わらない	職業安定所 (職員)	・金属製品製造業、一般機械・電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業の求人については前年比で大幅に減少しており、管内の求人倍率に少なからず影響がある。
	学校 [専門学校] (就職担当)	・新卒採用の前倒し傾向もあり、新規の求人を獲得できなければ全体求人数としては大幅な増加を見込めない。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-